

令和6年産に向けた富富富栽培技術対策のポイント

農業技術課

1 収量及び品質の状況

- ・収量は、年次による差はあるもの、6か年の平均で537 kg/10a。
- ・1等比率は6か年の平均で95.1%とコシヒカリの81.7%より高く、高温に強い特性を發揮。

表 「富富富」の収量の推移

	品種	H30	R元	R2	R3	R4	R5	6年平均
収量 (kg/10a)	富富富	541	517	580	517	524	543	537
	コシヒカリ	553	543	564	531	573	522	553

注) 収量：展示ほデータ

2 収量安定化の課題と対応策

- (1) 原因 初期茎数不足による**穂数不足**、過剰な1穂粒数による登熟歩合の低下
- (2) 改善対策 初期茎数の確保、稲の栄養状態に応じたな水管理による目標葉色への誘導

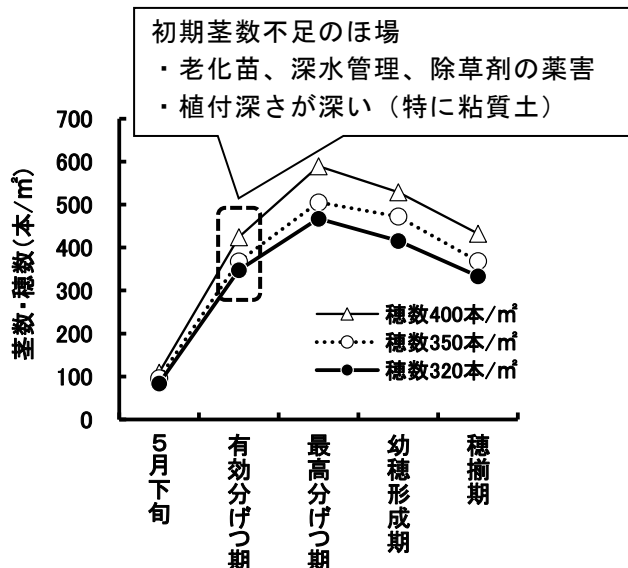


図1 茎数の推移
(R5 生育観測ほ、技術者協議会等展示ほ)

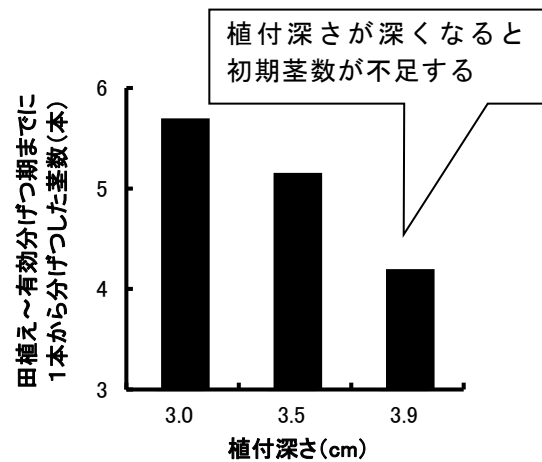


図2 植付深さと田植え～有効分げつ期までに分げつした茎数の関係
(R4、5 生育観測ほ)

3 次年度に向けた取組み

地域の課題を解決するため、地域協議会での栽培実証
(地域や土壌タイプごとの施肥量や中干し後から出穂期までの水管理等の検討)

(1) 初期の茎数の確保

- ・浸種期間を「コシヒカリ」に比べて1～2日延長
- ・育苗日数（は種～田植え）の適正化（5月15日植えの場合は19日以内を目安）
- ・栽植密度70株/坪、植付深さ3cm、植付本数3～4本/株の遵守
- ・初期の浅水管理による初期茎数の確保
- ・葉害軽減に向けた適切な除草剤の使用

(2) 目標穂数・粒数への誘導

- ・適正な基肥窒素量の施用（「コシヒカリ」の地域慣行の2割減が目安）
- ・田植後4週間までの中干しの開始
- ・中干し後から出穂期までの間断かん水等による目標葉色への誘導